

環境整備活動記録

第 39 期 04 月度

2021 年 3 月 22 日

～2021 年 04 月 18 日

渋谷理事（責任者）、前田理事、
澤木理事、永野専門委員

植栽定期保守活動（桐屋造園）

* 3 月は定期保守活動はなかった。

- ① 4 月の定期保守活動：4/1～4/10 除草、芝生目土掛け（実施済み）、4/19～4/20：薬剤散布（ヒイラギモクセイ）（「病害虫駆除剤散布のお知らせ」の掲示済み）、4/22～24：芝草刈

植栽スポット保守活動（桐屋造園）

* 3 月に 9 つのスポット保守作業を実施（3/25～3/31）：① 4 号棟北側、鉢土集積所の枠の作り換え、② 6, 7 号棟北側、花樽 4 つ交換、③ 7 号棟西側、F19 駐車場脇砂利敷き、④ 5 号棟南側、オオデマリ植栽、⑤ 6・7 号棟北側、ヒイラギモクセイ補植、⑥ 円形広場南側、ホルトノキ周り樹木ロープ柵設置、⑦ 4 号棟南側（6 本ケヤキ下）、モミジ補植、⑧ 7 号棟西側（F6 駐車場後方）、サンゴジュ補植、⑨ 7 号棟西（駐車場後方）、ウツギ補植。——すべて滞りなく実施された。

- ① 4/19～4/20：アルバリンの第 2 回地表散布（サンゴジュ、ガマズミ、オオデマリ）

その他の植栽保守活動

- ① 3/14（日）の強風で高所に掛かったままの 2 本の比較的大きめのケヤキの枯れ枝を桐屋造園がスポット保守作業の最終日の 3 月 31 日（水）に高所作業車を用いて除去してくれた。雑工扱いとしてくれたので費用の発生はなかった。その間当該のケヤキの木の真下に位置する F 5 0 の駐車場の車に「臨時駐車許可証」を発行した。
- ② 夏場の夜間の植栽散水に新たに導入する予定の「灌水コンピューター」（商品名）について桐屋造園に見積書を作成して頂いた。本体と保護カバー 8 組で計 270,000 円（税別）。[別資料] その後幾つか検討事項が残っていることが判明した（口頭）。
- ③ 4 月 4 日（日）に「中央の森式番街・植栽保守業務仕様（2021 年 1～12 月）」を桐屋造園との間で文書で確認した。前年との違いは、3 月のスポット保守作業の④ 5 号棟南側、オオデマリ植栽を新たに「落葉樹剪定対象樹木」一覧に加えた一項目のみである。[別資料]
- ④ 専門委員が常時街区内の植栽を見て回り、手回り作業をたえず実施した。

清掃美化活動

- ① 3月中旬にあった7号棟のB集積所に家庭ゴミをビニール袋に入れないまま直接コンテナに入れる事例は、その後止んだ。緊急に張り出した「ゴミ出しルールの緊急のお願い」の張り紙の効果と思われる。
- ② ①に関連して4月中旬に7号棟の或る住民（おりおり集積所のコンテナ付近でカラスが食べ散らかしたゴミを集積所に備え付けのホウキとチリトリで集め清掃して下さっている方）が①の張り紙を読んで、これまでそのゴミをコンテナに直接投棄していたが、自分もこれからはビニール袋に入れて捨てなければならないのでしょうか、と専門委員に相談があった（まったく想定外の問い合わせ）。専門委員が臨機にアイデアを提案をして下さったうえで、「カラスの散らかしたゴミをコンテナに捨てました」というステッカーをパウチにて2つ作成して下さり、7号棟B集積所に常備することとした（捨て方は従来通り）。
- ③ 専門委員が常時街区内の集積場ほかの見回りをして下さった。

その他の活動

- ① 4月上旬に参番街との間の道路中央にあるケヤキの高所にカラスが巣を作っているのを専門委員が発見。ちょうど桐屋造園の定期保守の実施期間中だったので（卵を産む前に）巣の除去を依頼。4月8日（木）に高所作業車を使って除去して下さった。今回も「雑工」扱いとなったので費用の発生はない。その後付近ではカラスの巣作りは見られない。

以上